

「希望」だより

〒284-0005

四街道市四街道 1-6-11 田中ビル 3F

TEL 043-421-6645 FAX 043-312-8700

E-mail : kibou_donguri@ninus.ocn.ne.jp

HP : <http://kibou-donguri.org>



精神障がい・精神疾患 ご家族のための

どんぐり工房

おしゃべりサロン



どんぐり工房では、定期的にご家族に精神疾患があるという方々においていただき、家族同士で悩みや疑問を話し合う場として、「おしゃべりサロン」を開いています
コーヒーでも飲みながら、一緒におしゃべりしませんか？！

日 時 4 月 9 日 (水)・5 月 14 日 (水)・6 月 11 日 (水)

15:30~17:00 (以降も毎月第2水曜日開催)

場 所 どんぐり工房 四街道市四街道 1-6-11 田中ビル 3F

対象者 精神障がい・精神疾患のある方のご家族

参加費 100 円 (お茶・お菓子)

問合せ 043-421-6645



※プライバシーは保護いたします

四街道市障がい者自立支援協議会



大手株式会社が運営する

障がい者グループホームで不正～

「障害者グループホーム等を運営する株式会社恵については、食材料費の過大徴収について本社等による組織的な関与が認められたことから、いわゆる連座制が適用されることとされました。」(千葉県HPより抜粋)

本件については、四街道市内にも同社が運営するグループホームがあったため、協議会にも報告がありました。本年3月以降からは、株式会社 INNOVEL HEALTH CARE が事業を承継しているとのこと。

入居者の方々には安心した生活が送れるよう祈るばかりです。

心の病気について知る

～シリーズ 精神疾患 (3)～

◇◇強迫性障害◇◇



つまらないことだとわかっているにもかかわらず、くりかえし同じことをしていないと不安でたまらなくなります。たとえば「くりかえし手を洗い続ける」「階段や電信柱など気になった数や、頭に浮かんだ数字を数え続ける」といったものがあります。

自分でも不合理だとわかっているにもかかわらず、しないではいられない「強迫行為」をくりかえすことに時間がかかってしまって、学校や日常での生活に影響が出てくる場合があります。出典 (厚生労働省 HP・心の病気について知る)

地域活動支援センターどんぐり工房

1日の流れ

9時30分～入室

おはようございます
こんにちは
入室したり
あいさつしましょう



体調確認



拭き掃除



洗濯たたみ

10時～プログラム開始



手工芸作業



菓子作業



調理実習



書道

フリー



ぬり絵



読書



パソコン



折り紙

ゲーム



トランプ



オセロ



ジェンガ



ウノ

14時30分～お掃除



15時退室



イベントのお知らせ

〈心のふれあいフェスティバル〉

日時：4月26日(土)

10時30分～14時30分

場所：千葉市中央公園

〈大きなテーブル〉

日時：5月31日(土)10時～14時

場所：四街道市文化センター

玄関前広場及び屋内

唐揚げの匂いで気はそがれた。飯の匂いは文学には適当でないらしい。もう一冊萩原朔太郎を取り出してもらった、宿命という本を選んでもらって読んでみた。その晩早速姉たちに報告した。珍しく三晩続けて家にいた。母親と四人で囲炉裏の上のちゃぶ台を囲んでいた。

「へえ、中原中也と萩原朔太郎か、春の日の夕暮れなら暗唱できるよ」

下の姉はすらすらと詠んでいった。新鮮な私の気分は飛び散った。

「詩は自分一人で読むものだね」

「やっと気がついたの」

上の姉が気の毒そうな顔つきをした。お腹がいっぱいの時もよろしくなさそうである、少し空腹がちようど良いらしい。

「国語を勉強するというのはどんなことをするものかね」

「詩や小説を鑑賞するのは大事、心の在りかたを問われるものだからね、学校ではそこまで気をつかわない、国語の時間に勉強するのは文章の在りかた、文法だったり文字の解釈だね、教科書では文章を個人に道案内をすることは滅多にない、偏りを招くから、新作も将来どうしても本を読みたいという時があると思う、その時は読みたい本を自分で探してみることに」

「どんな本が良いものかね、町の図書館にはおいてあるかね」

「二千冊くらいはあるけれど私は全部読んだよ」

「二千冊もかい」

「そのくらいは読んでおくべき」

下の姉が口を出す。

「お姉さんの読む速さは異常だよ、あれだけ早ければ二千冊もあつという間ね、私は半分がいいところだよ」

「あんたもあと二年で読んでおくこと」

上の姉は下の姉に厳しい、強い口調で言い伝えた。「そらんじること大事だけれど文章をどう読むかは自分次第、いろいろな人生経験も必要だろうな、私はどうかな」

そう言って少し遠くを見た。

「私は文学少女ではないし、教養のためとは思っていない、でも本は読むべきね、日本の古典も良いよ、女性なら枕草子、源氏物語は途中で飽きたけど、男だったら方丈記や徒然草が良いだろうな」

「私も源氏は途中でやめたよ」

「一通りは読んだけどね」

下の姉は口を出しては失敗ばかりしているようである。

「藤壺は光源氏に最後に一番お前を愛していたと言われるけれど、それで藤壺は喜べたかな」

源氏物語は恋愛小説らしい、世界で一番長い小説らしいけれどそれでいいものか疑った。ほかに土佐日記や更級日記などたくさんあるらしい。

「恋愛小説に飽きたら風土記を読んでみるのもいい

んじゃないかな」

はて、私はどこまで読めるものか疑った。

トタンがセンベイ食べて

春の日の夕暮れは穏やかです

中原中也の詩の一節も図書館の姉ちゃんに訊ねてやと判ったくらいであるから。

その点萩原朔太郎のほうが判りやすかった。

ある水族館で、ひさしい間、飢えた蛸が

飼われていた。

その一節から始まる「死なない蛸」になぜか引かれた、勿論意味はまだ判らない。散文詩と言うのだそうだ。散文というものでさえまだ判らない、詩というのはどのような形で書かれるものかも知らずにいた。

「新作も何か書こうとしてみれば良い、書いてみれば要領が判るんじゃない」

Kさんの姿はこの間柿の木の下にいた時以来見ていない。

不図気がかりになり親に聞いてみた。

「お前が寝た後に何度か来ているよ、気がつかなかったかい」

「どんな話をしてるのかね」

「子供のお前では判らないことばかりだよ」

「ふーん」

私は黙るしかない、大人同士でどのような話をするのか、それ以前に子供同士でさえ話し合うということを知らない。

「その歳なりに人間同士で話すこと」

上の姉が話したことである。

精神に障がいのある方へ

NPO 法人 希望 地域活動支援センターⅢ型

どんぐり工房

のご紹介

どんぐり工房でゆったりとした時間を過ごしてみませんか…

様々なプログラムを用意しています。
やってみたいことがあれば、ぜひご参加ください。

お家から

一歩外へ

出ませんか？

昼食作り

クッキー製造

手工芸品の製作

シール貼り

市役所・イベント
販売

おしゃべり

書道

これら以外にゲームをしたり（オセロ・トランプ・ジェンガ・ウノ等）
絵を描いたり、何もしないでゆったりと過ごすことも可能です。

見学大歓迎

会員募集

地域活動センター どんぐり工房

開所日 月～金曜日

（土・日・祝祭日お休み）

開所時間 午前9時30分～午後3時

一日の利用定員 15名

アクセス：四街道駅北口 徒歩5分

連絡先：四街道市四街道 1-6-11 田中ビル3F

TEL：043-421-6645

FAX：043-312-8700

グループホームだんらん

定員 6名（令和7年3月現在満室）

アクセス：バス停 茶屋の作 徒歩8分

所在地：四街道市栗山 886

TEL・FAX：043-312-9870

私たち「希望」は、精神に障がいを抱える方々
に対して、保健・福祉の向上を図る事業を行い、
障がい者が地域で自立して生活できるように
支援することを目的として活動しています。

本会の目的にご賛同いただける方・団体は、
どなたでもご入会いただくことができます。

個人正・賛助会員・2,000円/年

団体正会員・・・2,000円

団体賛助会員・・・5,000円



詳細はQRコードから
HPをご覧ください。